

有宵会だより

第51号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

六月・七月の運勢

気学では午六月
六月五日（芒種）節入り

9	5	7
8	1	3
4	6	2

天道
ア破

8	4	6
7	9	2
3	5	1

天道
ア破

気学では未七月

七月七日（小暑）節入り



一 白水星の人の運勢

六月筮一 水雷屯の六三
七月筮一 地沢臨の六三

中宮に入り多事多用で気が疲れる。運氣は雑然含みなので方針を決めて進める。家族や知人の問題は長引く、仕事や金銭は厳しく家庭は女性上位愛情に富む。体調は疲労胃腸、皮膚、頭痛に対処。七月は活気あり人との出会いが楽しい。上旬は積極的の下旬は家族との対話。仕事は我慢と妥協愛情表現は大胆さで示す。体調は咽喉、腰部、動悸精神疲労、平穏さで安心

二 黒土星の人の運勢

六月筮一 雷水解の六三
七月筮一 離為火の上九

何かと気掛り問題の処理と生活の知恵を生かす。仕事は焦らず着実、家庭内の不備はとにかく改善親子の情愛深く金銭支出は縮めて安全、交際は慎重に接する。頭重、口腔首と肩凝り、多汗さ対処。

三 碧木星の人の運勢

六月筮一 雷地予の六一
七月筮一 火雷噬嗑の六五

急ぎが終り一段落裕りの家庭食、希望あり中旬に期待あり。金運は予算に合わせ予定の支出、仕事は前半慎重に後半は調子に乗り実績として友人の助言吉。歯の具合、鼻炎、花粉症、気管に用心。七月は公私の忙しさと暑さ負け。予定変更にも騒がず柔軟対処。中旬の誤解と仕事ミスをさけて家庭では母性愛の喜こび多し。筋肉痛、皮膚、便秘、寝不足、気温負用心。

四 緑木星の人の運勢

六月筮一 地風升の初六
七月筮一 天風姤の九二

最近仕事に追われる

五 黄土星の人の運勢

六月筮一 山火賁の六四
七月筮一 風天小畜の上九

諸事にわたり平穩に過ごすのが良く相手に歩調を合わせる。仕事は内容確認、金銭問題はキチンと定め手紙やメールの意味理解。金銭は財布を締め。意外と胃腸や気血の結滞、目や歯に違和感。七月の運氣は自重、計画案は待機のこと。今日の努力は明日の実りの気持で仕事は確実に。親子夫婦の愛は和み、趣味嗜好を楽しむ。寝冷えと風邪、足腰、腎臓を大事に。

六 白金星の人の運勢

六月筮一 沢天夬の九三
七月筮一 沢風大過の九二

七 赤金星の人の運勢

六月筮一 天火同人の九四
七月筮一 地水師の六四

良い種も時かねば生えぬ、将来のために基礎固めに徹する。小事でも勤勉さで周囲同調、粘りの精神で運氣回復。旧友との交遊は情報楽しむ。家計費の増え、消化器下痢、のど、腓痛に対処。七月は旧態を改め一歩前進、中旬頃躍進のチャンスでも成果こだわらず。家事家具の活用と通信手段で人脈を拡げるが収支の乱れあり。皮膚、熱症座骨と神経ストレス対策。

八 白土星の人の運勢

六月筮一 地雷復の六四

九 紫火星の人の運勢

六月筮一 火革の九四
七月筮一 沢風大過の初六

今月は公私共に活気に満ち前向き、難問の打開は人の知恵を借りて善処千客万来のつもりで柔軟さの社交術。金運は見込みあり親戚や知人の交際は丁寧。湿度と発汗、風邪、微熱など健康管理。七月は平穩な経過でも暑さ負けに用心、住居の模様替や気晴らし外出あり。仕事や要件長引く、金運は計算ミス配慮。何事も持久運。歯と胃腸、過食、腓がえりに用心を。

福田 有宵

三月有宵会報告

半田 晴詠

三月三十一日(土)足立区こども家庭支援センターにて、NPO法人岳易館・有宵会が開催されました。佐藤宗眩先生の司会進行のもと、今回は福田有宵先生から「手相による病占」と「易と気勢判断」のご教授を頂きました。



第一部「手相による病占」

福田有宵先生

本日は、手相による病占です。今日日本は年金や老人医療など大変な時代になってきています。病気になるから治療するか、又は予防するかというところで国は予防に力を入れてきていますが、予算が充分なく、入院ともなると三ヶ月で病院を出されることもあります。ゆえ

に個人が健康管理をすることが大切で、できないことではありません。身体の状態を知るには人相と手相があり、又精神(心の問題)との三要素で人相を知る・手相を知る・心を知ることでバランスのとれた分析ができるようになります。我が身のウィークポイントはどのよう点が解つてきます。手相については、基本が大切ですので、プリントをもとに勉強していきます。目は口ほどに物を言うと言います。目は動くから解りやすいのですが、手は固定された状態で刻まれていますので、何処に違いがあるかを捉えることが大切なのです。例えば、話をする時の手の仕種にもいろいろあり、それも手相に入ります。ざつとくばらんの人は、手の動きが緩(ゆる)やかで大きく前に出し隠しません。内向的な人は、手を動かさず前に出さない傾向があります。まず五指から入りますが、拇指 金星丘 生命線と三ヶ所が関連しているの一点だけをみてはいけません。食指 木星丘 向上線、中指

土星丘 運命線、無名指 太陽丘 太陽線、小指 水星丘 配偶者線(子供が現れるので生殖腺とも)があり、特に丘には意味があります。次に手型を参考にします。手型には七種類あり、手型と丘と線に関連づけてみます。例えば、女性は円錐型が多く指の基節が大きく全体にふつくとしていて、四角型は男性に多く指が筒型で手の平は膨らみが少ないですが、その中でどの丘が際立つかをみます。基本のラインは手型であり、最初に与えられた部位でその後他の部位の成長があります。紙面の都合でプリントの内容は全部掲載していませんが、プリントの順に先生の口述を記しますのでプリントを参考にしてください。

手相は大脳と直結

(1) 人体と手相について

脳にはいろいろあるが臓器に変調をきたすと自律神経から大脳に直結し脳脊髄神経から手に変化が現れる。(2) 変化しない部位 変化しない部位は指紋と掌紋で一変不変。変化す

る部位は線・丘・指や爪の形、手の硬さなど。線は三十本あり、十五本は覚えてください。丘は張り具合に個人差があり。指や爪の形、硬さは手型により異なります。最も大切なのは色で三色。錆びた色の過去色、生き々とした現在色、未来色は蕾であり時間の推移を表す。例えば生命線と交わる所の胃や胆嚢の部分などのような色を見ます。温度は同じ状況での差を比べる必要と体温の問題があり、男性より女性の方が冷たく、冷え症と考えられます。

(3) 手の甲 五指と内臓器官 手のひら 三大線と丘について

拇指 主に心臓系。金星丘と生命線を見る。生命線は消化器系で、心臓を入れてはどうかとかわれているが生命力が最後まで必要なのは心臓であるから重要視します。又金星丘は、拇指丘とも言つて本能(情)もみまます。食指 生命線の起点を中心にして丘をみる。栄養器官を司り肝機能、胃、胆嚢も入り、暴飲暴食をすると食指が硬直しこれは直ちに現れる。丘がピ



ンクで艶の良く張りのあるのは、勢いがあり指導力を表しています。

中指

中指は自分自身なので心臓。感情線の中指の下に島が現れると心臓疾患と言われ、先天性のものも多く子供に多い。手術をするべきかの相談の時は生命線と健康線を合わせてみる必要がある。大切なのはどちら側にあるかで、両手の同じにあるのは厳しく、右手に無いのは回復の見込みがある。心臓は土星丘、太陽丘を主とし水星丘まで入れてみる必要がある。中指は精神的には内省的(遠慮)性質の部位で指の長さで判断します。

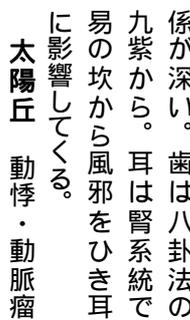
無名指

神経系統で特に目の神経系統を主とし視力の問題は当たる。太陽丘の張り具合が小指に寄るか中指に寄るかで違いがある。太陽丘の下は島は視力を表し、五人に一人は島があり白内障や

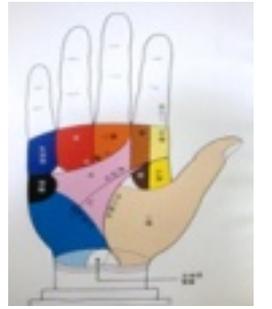
目の疲れは島の大小や形色などで違いがあり、心臓と神経に關係している。現在の様子は色でみる。蒙色(鼠色や茶色系)は酷くなっている。神経系統は左右をみて三要素をみることで三権視と言つ。小指 生殖系統。これは結婚線があり、交わりから小指・丘・線の三要素を入れて確認する。肺臓(気管支系)、月丘の方は循環器系、婦人科系や男性は前立腺。又月丘は精神想像の部分でもあり、頭の判断は循環器系が司ります。手首の所の地丘は生殖器系で、手首も健康を表すので関連づけて判断する。(4) 左右の手 左右の手の差が無いのは平穩。右手の線が多く変化があるのは発達とみて、先をみる所です。左手は先天的要素で青年から中年・晩年になってどちらが低下するかをみまます。(5) 生命線(本能線) 障害線は急性の病気や災難だが軽い。島は慢性的要素。線の切断は厳しい。障害線は急性であるから、その部位に不調不良不満不備を表しサインを送る。又赤点は急性で

免れるが、黒点は免れない。
感情線（本能線） 小指の所に循環器を入れる考えから、手や指の麻痺は感情線の乱れをみる。頭脳線、生命線は余り乱れないが、感情線は感性が鋭く表現が豊かなことで変わりやすく、乱れる。
頭脳線（理知線） 頭部と神経の障害で頭の中の疾患。注意して鳥を良くみる。鳥がある場合は問題だが軽く言うこと。線上の鳥に枝線が入り格子状や網状などに変化することが頭の变化と言える。頭脳線の全く無い人もいますが、これは後のテーマとします。杵掛け線は頭脳線もあり三本あります。

で勝負をかけている。無名指や小指に近い方は社会性を表し、本人だけでなく社会がどう評価するかで太陽線が出てきます。
太陽線（第二運命線・個性線） 芸術才能、名譽名聲、名譽欲は食指であり木星丘にある。その実績を作るのが無名指と太陽丘で食指と関連がなければならぬ。財的繁栄は太陽丘が必要で、水星丘は頭を使って財を考える。結果を出すのは太陽丘である。
健康線 下の方から出て感情線まで伸び、感情線の上まで行かない。肝臓線とも言われ肝機能、皮膚と関連が強い。月丘の肉付きと火星平原の出方を良くみる必要があります。



(6) 疾病を示す丘
 手型があつて各配置があるので手型をみることで大切。体質は手型に与えられていて、生まれた時からどう変わったかを判断する。余り変わらないが大きく変わっている。



木星丘 脳卒中は循環器からですので、中指と無名指で土星丘・太陽丘・金星丘であり、木星丘は胃と肝胆機能が代表で脳卒中は無いとされているが、意欲を見る所であるから過労からくる脳卒中である。肺疾患は小指や水星丘をみているが、跨つてみる必要がある。
土星丘 神経過敏症。痔が何故入っているか。栄養器官を司り、食指と木星丘を入れ消化器系を入れてみる。血液下行とは貧血のようなもの。土星丘の面積をみて麻痺は半身・全身の麻痺をみる。麻痺になると手の中に指を入れることが多い。心臓系を表し本能的に大事にしたいと思うから、中指を中に入れると力が入る。卒中系は拇指に關係が深い。歯は八卦法の九紫から。耳は腎系統で易の坎から風邪をひき耳に影響してくる。
太陽丘 動悸・動脈瘤

は血行障害になるから。子供の頃から無名指の下感情線に鳥が出ると近眼の要素がある。遠視は現れない。
水星丘 胆肝機能については、肝臓線が健康線にあり水星丘に行きたがるからで、本来は生殖系なのでその関連をみる。予備知識があれば総合判断ができる。神経過敏とは神経は太陽丘にあり、そこに神経が走るからである。
第二火星丘 咽頭炎・気管支炎・血液障害は、感情線を跨いで第二火星丘があり、二つの丘に一つの線が仕切る。どう作用するかは蒙色やキズやケロイドなどがあるかを見ます。
月丘 腎臓・膀胱・水腫・結石・視力減退・痛風・貧血・婦人病などで面積は金星丘の次に広い。その違いにあつた時に個性がでる。手型で尖頭（せんとう）型の人は狭い。小指の下に打撃（だげき）線があり第二火星丘が張りを作りやる気が出てくる。その部分が減つてくると体力が落ちる。貧血は冷えて手の色が白い。手の色は指の股が地色で

変わらない。痛風の尿酸系が何故月丘に出るかを解るよつにすること。
金星丘 生殖器で手首線の一部にもある。広さが一番あり、生殖器は小指・水星丘・地丘なのだが、生命線は消化器を中心にして内臓全体が入り命を与えてくれていて、生殖器は肉体を通して生るからです。
第一火星丘 この部位の陥没は性病などで、良く覚えておくこと。反対に張っているのはファイトマンで自分のペースを通す。張っている方が望ましい。欠けてくると粘りが無くなる。生きて行く望みは火星丘が必要である。
火星平原 栄養全体の健康
健康線 病占は三大線プラス健康線がテーマで貧弱は頭脳線の障害。水星丘に向かうところに意味があり、障害は頭脳線を切るため。次に三大線と比べて太いか（巾）狭いかをみる。それぞれ線には長短・太さ・深いか浅いかがあり、三点を比較すること。又鳥が出てくるか千差万別であるので健康線は調べることで多

いです。健康線は一病息災のように病気に対する意識。判断力は頭脳線が大切でどのように管理できるかです。蒼白は、感情線の近くが心臓であり、どの線に近づくかで線との意味を合わせることに。
(7) 手型・どの手形に現れるか
四角型の手 四角型の手は指が筒型で色は白くない。神経痛・胆石（胃と肝機能が入る）・神経病は無名指と太陽丘と下の感情線。胆石は食指と木星丘をみる。生命線と頭脳線の起点はどうなっているか。三人に二人は一緒になつていて。慎重型・晩年運とも言われているが、くつつきの程度にもいろいろあるので、生命線の健康面と頭脳線の判断力について気をつけてみることに。
へら型の手 心臓病・脳貧血は男性に多く身体に鞭打つて動き、食生活がどのようかで症状が出ることがある。
円錐型の手 呼吸病。女性に多い手で消化器系（肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓も入る）。
尖頭型の手 胃腸病。憂うつ症。指先が長く手

の平の長さに対して中指が5位。手の平が小さいが指の方に重点をおく。

混合型の手 何故病気の回復が早いかは、体質が三種類以上の要素を含んでいるからで普通は二種類位である。

金星帯 神経質。腸が悪いののは、消化器系のある所の生命線など二〜三ヶ所をみることで、しっかりとした判断ができる。

(8)手の色
白色 白色は肺臓。身体が冷える。黒色は腎臓・副腎で粘りを表す所。
紫色 循環障害・呼吸困難・チアノーゼなど。
青色 胃腸。木気から。
緑色 脾臓。

色と爪について
手の色は、黄色が黄疸と言われ肝臓。赤色は心臓。赤と白の斑(まだら)で赤が広がると肝臓障害。青色は貧血症。又金星丘が青いのは消化器系に問題があり腸に便がたまりやすい。生命線の下の方1/5から下をみる。色が蒙色や黒色はたまりやすい。

(9)爪に横溝
寄生虫や便秘症。
白い斑点 寄生虫・貧血など。白点が入ると良い

事があるとも言われている。

爪が盛り上がる 動脈硬化症。

黒又は青 伝染病などの血液中毒症・敗血症。

黄色の斑点 肝臓症で五指に出るか、どの指にでるかで判断。
縦じわ 心臓。皮膚が弱い。加齢になると二本位出てくる。爪は心臓を主にみるところ。

横溝 それぞれの指のどこに出るかをみる。中指は自分自身である。それが循環器からきているのか、環境からか読み筋を作る。各指の病気はプリントを参考に。

長爪 面積が広い大爪も呼吸器系。小さい爪は心臓系で性格は短期で物事が早く回転も速い。
短い爪(非常に短い) 平ら、四角の爪は心臓病・病的神経質。

三角形の爪 脳脊髄・中風症。
どんぐり状の爪 動脈系
オウムのくちばし(先が下がる)は呼吸器。
碁石形 碁石形は肝臓。指先が屋根形とアーチ形は腎臓・動脈硬化など。
本日は以上です。今回は病占一回目ですが、プリ

ントを参考にこの位は覚えてください。

福田先生、長時間有り難うございました先生に頂きましたプリントは、大変詳細で解りやすく、その上ご丁寧な口述をして頂き大変勉強になりました。

著書紹介

大熊茅楊先生と医学博士齋藤頼先生が、医学と手相の関連性をテーマにした研究書に、この度福田先生が解説をなさり、東洋書院から「ズバリ!病気が手でわかる」の著書が発行されました。手相学と医学による病占としては他に類をみない内容豊富な本です。皆様の勉強には是非お求めください。

第二部「易と気学による月運判断」

四月、気学で七赤は定位盤の離宮九紫に同会し安



本命・七赤

月命・六白

定。九紫の判断から処理することは早目にするが二度同じ事をする事になり、カッ力するが感情的にならないこと。書類・印鑑・サイン等は用心。外向きは七赤で家の事は月命六白が良宮同会で整理整頓。不用な物は捨てることだが、書類や記録した物を捨ててはいけない。目と腰に注意。精神的には先々の事で手を打ちたいところだが、定めてすること。派手な交際費や買物物の出費あり。

坐骨。又被同会四緑破れは、喉を痛め八白を捉えて筋が張ることから、詰まってスッキリしない。

四月 地天泰 六五 泰は安定の卦なので状況を表している。妻が上で夫が下。口論に注意。六五で水天需を含み食生活があり、食事はしっかりとすること。

五月 火山旅 九四 気学で六白は九紫に同会、被同会三碧破れ付きで、外側の破れは運氣に影響を与える。旅は外出を表し外出が多い。プラスとマイナスが入り混じるので良く吟味すること。自分のペースにしたい。月命九紫で物事ははつきりしたく急いでしまう。自分が正しいと思うので様子を見て行動すること。旅は外出が多く出費も多い。中旬に集まり等の予定が出てきます。

本命・六白
月命・九紫

四月、六白は定位八白に同会し多忙で処理できず。被同会四緑破れ付きで交際面で気に入らないので他から来る者には慎重に。裏でつまらない事を言われるので、そうはならないように注意すること。足腰の筋を痛める。特に

五月 風雷益 九五 気学では坎宮で自重運だが易は個人的な運勢なので易を主として判断し、自分の思うようになる。足元に注意。

言い方をするから嫌がられ邪魔が入るので配慮が必要となり、精神的不満が出てくる。これは上下の対沖が作用し、夫や子供が裏付けされ上の人や下の人に気を遣う。気疲れ・肩・腰の疲れがある。食事がゆつくりできないこともあります。

四月 天雷无妄 六三 无妄は自分の意見を通したいが思うようにならない。書類・印鑑・家の整理等積み重なっているが、時間通りにまとまらないので必要な事だけ実行する。

五月 風天小蓄 六四 何故小蓄が出たのかは、七赤は坎宮に同会し、年盤二黒で、一白の子供と二黒の実家の意味が入り、入り乱れた条件が出てくる。坎宮は自重する所待ちなさい、と言つこと。小蓄も留まる意がある。内卦に夫があり、夫の意見を聞きたくない、夫に對し自分の意見を言い出したいが、気学では言つてはいけないとする。小蓄は金銭問題が表面化するが、出さないようにすること。実家からみることがあっても様子をみる。風邪をひきやすい。生活

本命・七赤
月命・八白

四月、本命と月命が対沖し、上に七赤があり答えを出さなければならぬ。手続きの問題等忙しいので合理的にする。離宮同会は自分が正しいと思いつ自分に道理があるという

足腰の筋を痛める。特に

足腰の筋を痛める。特に

が不規則になるので注意。

**本命・二黒
月命・二黒**

四月は本命・月命共に定位置盤巽宮に同会、年盤五黄に同会。素直にみると四緑に同会し良いとするが年盤五黄に同会するので、問題が延び長引く。気学上吉運だが年盤の五黄を入れると順調には行かないことで半吉とする。体調では、持病が現れやすく気管支・喉が詰まりやすくなる。五月は中宮に入り周囲の世話をするようになり忙しい。計画通りに行かず、被同会八白で特に家族との意見のコントロールをしなくてはいけない。八白を親戚・家の中とみて親戚とは上手に話をつけ延ばす方がよい。家の修理も待つことが良い。気疲れや寝不足、皮膚の湿疹に注意。本命・月命が同じなので象意が出やすい月。

四月 雷山小過 九三

小過はやり過ぎるのでブレーキをかける。一言多くなり噂話などに相槌すると嫌な方に流れて行く。小過は背中合わせの形で意見が合わなくなり揉めるので注意。ペットがいる場合は面倒をみる事に

なる。

五月 天沢履 初六

履は過去の問題。気学では中宮に同会しているのが、過去の問題が出る訳で三ヶ月位の間的事が出てくるが、避けた方がよい。しかし、履は道理を通しなさい、ということ。健康面で四月の気学では出ていないが、易では背骨と腰、節々が疲れる。玄関と入口を綺麗にし、気分的に呪い(まじない)をすると気分が良くなる。

**本命・八白
月命・九紫**

四月は坎宮に同会し、家族や子供、仕事上は職場の仲間。一白に入ると淋しい気分になり同調してくれる人を望みたくなり、アドバイスが欲しくなる。八白の心と九紫の心があり、どちらの勢いがあるか。月命の九紫の動きがあり、古い友人・実家・母・同級生等の条件が表れる。古い方になるのは、心を安定させたい、落ちつきたいと思う時なのでゆっくりする。実際にお金をかけず家の為に使うようにする。

四月 風水換 六四

換は散らす。嫌な事を散

らしてくれる。水の作用があり、お水取りをする

と良い。水は疲れを除く水があり、家族を大事にする愛情の水もある。心配事は中旬に無くなりま

五月 艮為山 初六

本命八白は暗剣殺が付くので調子づくど頭を叩かれる。暗剣付きは勢いがあり、職場や家庭の身近な所で揉め事が起こりやすい。問題から逃げる方法として艮為山の卦は、家の事に専念すれば良い。家が二つあるという事は、実家の事や二つの問題を抱える時期だが、乗り出さず様子をみるのが大切。問題を抱え過ぎないことと二ヶ月先延ばすようにする。艮為山はどのような場所が良いのか。家や古い都、又遺跡を表すが、初爻なので近い所、郷土史や縁のある所を探

**本命・六白
月命・五黄**

自分の学びをすると良い。二ヶ月先の流れを参考にすると解りやすい。一ヶ月単位で読みとる場合には枠が決まるが、二ヶ月なら流れが出てくる。艮宮八白の所から離宮九紫

に移り、先々の事を読んで

いる。主体が一つあり、家の中、家族の事、金銭や健康問題等が肩にかか

四月 兌為沢 九五

兌は七赤。七赤・七赤の二つであり、易の七赤は定位で四月は五黄被同会。少しのんびりしたい。三月は用事が重なり疲れが出たが、四月は回復させる時。歯の問題が出るが食欲はある。外出も多

五月 水山蹇 六四

状態になります。食道炎等で胃がもたれる

寒は足腰を止められてしま

うことがあり、気学では良いように見えるが、易では核心にふれた事には手を出せないという形に変わってきたのでスツキリしない。四月の問題を引きずっているので、慌てて答えを出さない方が

**本命・五黄
月命・七赤**

調子に乗らず注意してください。四月 巽為風 九五 人の出入りに注意。外出が多く出費が伴う時。内心は気楽に行きたいが、月命ではそうはいかない。気を楽にしながら用事に

五月 天火同人 初六

命艮宮、月命坎宮にきているので、上に立たず下で我慢すること。同人なので仲間と上手に付き合う。初爻なので上旬が忙

以前に痛めたところ

以上、六名の月運判断をして頂きました。今回も全員の月筮をお持ち下さいましたこと、長時間のご指導に重ねてお礼申し上げます。

半田 晴詠



江戸五色不動尊巡拝

池田 亜弥



去る四月二十三日かねてより楽しみにしていた『江戸の五色不動尊巡り』に参加しました。当日は生憎の雨の中、七十一名の方が朝早い上野にお集まりになりました。今回は希望者が多くバスも二台の運行となり、

一号車は福有宵先生・二号車は佐藤宗眩先生で出発致しました。最初に訪れたのは台東区三ノ輪『永久寺』目黄不動尊です。

既にバスの中でご真言を唱えてのお参りとなりました。福田先生のお話によりますと、お不動様に『これからお詣りさせて頂きます』と言うご挨拶だそつです。

不動明王の真言
『ノウマク サンマン ダ バザラダン センダン マカロシヤダヤ ソハタヤ ウンタラタ カンマン』

お不動尊さまの前では改めて開経偈・真言・般若心経を一同で唱えました。この所作は、これ以降のお不動尊の前でもさせて頂きました。次に向かいましたのが、江戸川区平井『最勝寺』目黄不動尊です。見応えのある朱塗の三門は、一風変わっていて屋根がありません。ここのご住職は中尊寺のご住職も兼ねておられるそう、今回はたまたま平井にいらしていたと伺い、これも参加者皆さまの功德の致すところと感心致しました。

ご住職のお話によりますと、最初ご本尊は向島にあつたそつですが、大正初めの区画整理で今のところへお移りになったそつです。

そろそろお昼の時間になり、バスは一路お台場へ。有明スポーツセンター内にある「つきじ魚惣」さんで昼食。ところが本館は月曜日定休日と言つたので、わざわざ私達のためにお昼を準備してくさつたのです。そんな状態でくりとお昼を頂くことが出来ました。

次に向かいましたのが、目黒区下目黒『龍泉寺』目黒不動尊です。参道左手には『水かけ不動明王』お寺の後ろには銅造の大日如来様も見応えがありました。

雨も少し霧雨になった頃、目青不動尊のある世田谷太子堂『教学院』に向かいました。ここは三軒茶屋の駅が近いにもかかわらず、昔懐かしい風景が広がる異空間、まるで昭和にタイムスリップしたような場所でした。心なしか写真も青い霧に包まれたように写つたよつで不思議です。

目白不動尊は豊島区高田『金乗院』に向かう頃には、辺りは少し暗くなつておりました。それでもお寺の方が、私達のために門を開けて待つていてくださいました。このお不動さまは『この地は諸仏内証秘密の浄土なれば、有為の穢火をきらえり、故に凡夫登山する事かたし、今汝に無漏の浄火をあたうべし』といわれて自らの左手を切られたそつです。その左手から、靈火が燃え出たお姿のお不動尊が見られます。

それぞれのお不動尊に共通するのは左の辮髪を垂れ、衆生を救い、自らの頭の上にある蓮の花に助け賜うお姿です。右手に持つ破邪顕正の両刃の剣は、不正を許さず正義を実現するためのものだそつです。恐ろしい形相とは裏腹に、慈愛慈悲に満ちたお心に、心が洗われる思いでした。

最後に伺つた目赤不動尊は文京区本駒込の『南谷寺』です。大師堂の右手には六人のお地藏さまが、左手には今が盛りと八重桜がそれは見事に咲いていました。

一度になかなか回れるものではない。五色不動尊巡りに、今回参加させて頂いたことが有り難い。『また次回も企画して下さい』というご意見が多数上げられ、実現する事を願つております。またご尽力頂きました皆様に、心から感謝いたします。

五色不動尊さま巡りも無事に終わり帰りの一号車のバスの中で智円尼僧から『立ち向かう人の心は鏡なり 己の姿を写してやみん』毎日が修行ですよ。与えられた事をこなしていきなさい。人がどうのと言つたのではなくどう受け止めるかが大切です。そうすれば相手を責めることがなくなりますよ。心が先に病みそれから体に出て病気になるので。

そう教えて頂きました。有難うございました。

池田 亜弥 合掌

江戸の五色不動尊巡拝 酒井 洋子
四月二十三日(月)上野公園のバスターミナルから九時十五分に出発しました。一号車、二号車

の順に乗り、私は一号車で吉祥寺教室の十二名の方々とご一緒させて頂きました。朝からの雨も不思議なことに酷い雨に遭つたのは、乗り降り十二回のうち二回位でその後は傘なしで参拝出来る一日でございました。先生の日頃のご尽力によつて六つの不動尊を一日で参拝出来たのはとても嬉しく二度とこのようなことはないのではと思ひました。

最初は目黄不動尊からの参拝、福田先生の先達で開経偈、不動真言、般若心経を一同心をこめ唱和させて頂きました。

二番目の目黄、最勝寺ではご住職は東北の中尊寺貫主様ですが、前日に用事のために戻られたこと。ふくよかなご住職を拝顔させて頂き本当に嬉しいことでした。



福田先生から以前教えて下さつた風水学や五色と五行説のお話が、ご住職のご法話の中にあり五色不動の由来をお聞き

ました。本堂内は立派な荘厳で不動様はすばらしい半眠のお姿を拝むことが出来て嬉しい限りです。昼食は和食でおいしくいただきました。

午後は日本三大不動の一つといわれる目黒不動尊へ参拝、本堂は長い階段の上であり下から見上げ、最近右膝が痛い私にはとても無理ではないかと一瞬思いがよぎり立ち止まりましたが頑張つて昇り降り下りは難なく降りてくることが出来ましたのは、これもお不動様のお力のお陰と感しました。

ご本尊の不動明王は秘仏で十二年に一度の酉年がご開帳と聞き次は平成十九年の酉年まで数えてみますと私は八十八才です。元気で頑張らなくてはと目標を立てました。

裏手には大きくてすばらしい大日如来坐像があり、この参拝の話があつたとき先生は二年前九十才で亡くなつた主人の写真を持っていくようにといわれ、八白の守りである大日如来様に向かつて念じて参りました。バスの中では福田先生からそれぞれに由緒あるお寺の話を伺い、また今

野智円師から聖天様についてお話をして下さいました。聖天様は神仏両部の意味をもつとのこと知恵と病氣平癒のために神意を示されるといわれ「たちむかう人の心は鏡なり、おのが心をうつしてやみん」この言葉は自分の心をうつしてみよう受け取り方が修行であるとおっしゃいました。

まず、自分の心があり、ノイローゼや病気にしても全て心であると、智円師はマイクを通して説かれました。私も心の持ち方が一番大事なことであるとつくづく感じました。帰路は予定通り六時に上野駅に到着し無事解散となりました。沢山の経験を思い出しながらいにし振りに先生との日帰り旅行で本当に楽しく有意義な一日でありました。

お不動様、そして皆様ありがとうございました。

酒井 洋子

合唱



五色不動尊巡拝して

今平 乾象



五色不動尊めぐりに参加することで、学びの機会が数多くありました。

「結界」と云う言葉も久し振りに聞く言葉で、江戸を守る為に五色不動尊を配置したこと。しかし我々の知る五行の色・配置と現存するお寺とは配置が異なっている事も不思議だったし、お不動様と龍そして雨が関係している事も知る事になりました。雨の日でもお陰様で濡れることもあまり感ぜず不思議な気がしました。三ノ輪の「永久寺」目黄不動、平井の「最勝寺」目黄不動、目黒の「龍泉寺」その他の示す目黒不動、三軒茶屋にある「教学院」の目青不動、目白・神田川沿いの「金乗院」目白不動、そして駒込・本郷通りにある「南谷寺」の目赤不動とお参りさせて頂きました。それぞれのお不動様の表

情も特徴がありました。何よりもそこを守る住職さん達の個性あるお話の内容に感銘をいたしました。

お不動様のお顔の左側に垂れている「辮髪」には役割のあること、頭上には蓮の花があり辮髪をよじ登った人間を乗せて次のステージへ連れて行くこと。両眼を見開いていること。両眼を見開いてること。不動様もいるようですが、大体は右目をひらき、左目は半眼にして全てを観ている、何事も見逃さない力強さが伝わってきます。

不思議なことですが、普段はあまり仏像の写真を撮ることは自粛しているのですが、平井の「最勝寺」の住職さん（現在は中尊寺の管主をお勤めの人）が写してもいいですよと許してくれたので、その気になってシャッターを押してみました。あまり良く写りませんでした。ほかのご不動様も同じように暗くて良く写っていませんでした。やはり、仏象は写真に撮るものではないのかもしれない。さて、バスの中のお話に、心に残るお話があり

ましてので、触れてみますと、福田先生が「智円先生」に何か皆様へとお願ひした時。

智円先生は比叡山での大変な難行を積んでこられた方と聞いておりますが、「修行」は辛い難行だけをこなすのでは無く、日常の場の中でできるものですと切り出されました。心の平安を求めること、日常生活の中で、相手のことではなく、自分自身はどうかを常に考えることが修行です。そして、

「立ち向こう人の心は鏡なり、おのが心を映してやみん」と云う歌を覚えて頂きました。常に自分のこころを先に考えることで、相手を攻める事はなくなり。心の不安定が体調を崩しているキツカケです、ストレスから胃をやられ、疲れることで身体全体のバランスを欠き、やまいを発生する・・・正しいと思いません。我々、鑑定をする人の大切な点は、相談者のこころの状態を見てあげることに、表に出た現象の陰に隠れているその人の心の中を深く洞察して、ここ

ろのわだかまりを解いてさしあげること。様々な鑑定法はその為にあることを知りました。はからずも、五色不動尊めぐりにバスの中で聞く言葉の中に、私なりのヒントを頂きました。ご不動様のお力でしょうか？

乾象 記



江戸の五色不動尊巡拝

清水 允冬



で当初大型バスと小型バスの2台の予定でしたが、大型バス2台で巡ることになりました。前日から雨の予報で、もちろん当日も朝から雨でした。しかし、どのお寺でもバスから降り、歩いてお寺まで移動する時は小雨の中を移動しました。

「江戸五色不動」は、寛永年間の中頃に徳川三代將軍家光公が天海僧正の具申によって、江戸の鎮護と天下泰平を祈願して江戸城の周りに五ヶ所の「不動尊」を選抜したものだと言われてます。それが今回巡拝した6つの不動尊になります。（目黄不動尊は、2ヶ所あります。）

五色とは、ご存知の通り古代中国の五行説をルーツに持ち、木・火・土・金・水の五つの要素から万物が成ると考えられています。

このたび、平成24年4月23日に「江戸の五色不動尊巡拝」に参加しました。この巡拝は8年越しの計画ということで、私自身参加できたことは、とてもうれしい行事の一つでした。

今回の参加者は、71名

- 東 〓 青 〓 木
- 南 〓 赤 〓 火
- 中央 〓 黄 〓 土
- 西 〓 白 〓 金
- 北 〓 黒 〓 水

不動明王は、密教の中心仏である大日如来の化身とされ火災を背に憤怒の形相をしている。右手

に剣、左手に絹索(けんじやく)という縄を持ち、その剣で衆生の煩惱・災難を縛り上げ、断ち切ることを示す。縄で衆生を救いとるといいます。

また、それぞれの場所では、各自お賽銭とお参りをした後に、皆で御真言とお経(般若心経)を皆で唱えました。不動明王の御真言は以下の通りです。

『なうまくさんまんだばざらだんせんだまかろしやだそわたやうんたらたかんまん』

今回、巡った順番は次の通りです。

- 午前
 - 1 目黒不動尊 台東区三ノ輪2 14
 - 天台宗 養光山金碑院 永久寺(えいきゆうじ)
 - 2 目黒不動尊 江戸川区平井1 25
 - 天台宗 牛宝山明王院 最勝寺(さいしょうじ)
- 午後
 - 3 目黒不動尊 目黒区下目黒3 20
 - 天台宗 泰叡山 瀧泉寺(りゅうぜんじ)
 - 4 目黒不動尊 世田谷区太子堂4 15 1
 - 天台宗 竹園山最勝寺

- 5 目黒不動尊 豊島区高田2 17
- 真言宗 豊山派 東豊山 新長谷寺 金乗院(こんじょういん)
- 6 目赤不動尊 文京区本駒込1 20 17
- 天台宗 大聖山 南谷寺(なんこくじ)

まず、1番目の目黒不動尊は、台東区三ノ輪の永久寺。ここは西の市でおなじみの長國寺の近くに位置します。集合場所の上野駅からバスですぐのところですが、駐車場はないためバスは道路上で待機してもらいました。お寺は歩いてすぐのところですが、このお寺のご住職は個人的なお方で当初40枚のご朱印をお願いしており、後に75枚をおねがいましたが、当初の枚数しかできないとのこと。今後参拝されたい方では、ご朱印を頂戴したいときは、事前にお電話をお願いして訪問されたほうがよろしいかもしれません。

次に2番目に訪問したのも目黒不動尊、こちらは江戸川区平井の最勝寺。

バスで移動して広い道(都道449号)で降車し、小雨の中をみんなで傘を差して歩きました。ここは、約500mの道のりを歩きました。お堂の前には蓮の入った壺がいくつか置かれており、きれいなお庭が印象的でした。堂内には上がらせていただき、皆で御真言と般若心経のお経を唱えました。その後、ご住職の説法をいただきました。ご住職は普段は不在で、いつもは岩手県平泉の中尊寺におられるお方で偶然用事がありこちらにいられたそう、このお寺が、この地に移動になった経緯をお話くださり、東日本大震災のときは皆様に助けられたとお礼を言われました。これも偶然の出会いとはいえず、ご縁なのだなあと感じました。

午前中の参拝は、これで終わりました。お台場で食事を済ませて首都高で移動となりました。

午後の3番目に訪問したのは、目黒不動尊、こちらはもろろ目黒区下目黒の瀧泉寺。バスで移動して山手通りで降車し小雨の中をみんなで傘を差して歩きました。ここ

でも約500mの道のりで、途中商店街の中を歩きました。自家用車だと境内の前まで行くことができ、コインパーキングの駐車場もありました。(毎月28日は大縁日で、この時は駐車できないかも知れないです。)階段を上すると大きな立派な本堂がありました。堂内には上がらせていただき、皆で御真言と般若心経のお経を唱えました。そして、ご住職の説法をいただきました。中は写真撮影の禁止なのでご注意を！その後、本堂の背後にある露座の銅製仏像を拝見しました。あまりにご立派なのにびっくりしました。この仏像は膝前で印を結ぶ胎蔵界大日如来像で、天和3年(1683年)の作だそうです。行かれたときは是非ご覧になってください。



次に4番目の目黒不動

尊、こちらは世田谷区太子堂の教学院。バスで移動して世田谷通りで降車し、約200mの道のりです。車が一台程度通れる道を歩き、東急世田谷線の線路を越えて右へ曲がりすぐのところでした。目の前には終点の三軒茶屋の駅がありました。入り口から入り正面に不動堂があります。お堂の奥のお不動様を拝見し、皆で、屋外でお参りをしました。お堂の右手の木の下に咲いているシャガ(著莪)の花がとてもきれいに咲いていたのが印象的でした。

次に5番目の目赤不動尊、豊島区高田の金乗院。バスで移動して目赤通りで降車し約300mの道のり、住宅街の坂を下ったところの右側にありました。ここのお不動様は、正面右手の階段を上ったところにあります。特徴的な仏像で、左腕を切り取られた仏像です。最初にここで各自お参りを済ませて、正面の金乗院の前に移動し、皆で御真言と般若心経のお経を唱えました。この時点ですでに16:00でした。

最後に6番目の目赤不動尊、文京区本駒込の南谷寺です。



バスで移動して本郷通りで降車した目の前で地下鉄だと東京メトロ南北線の本駒込からも近くにあります。まず境内に入ると本堂の右手に不動堂があり、各自そこでお参りを済ませました。ここにとてもきれいに咲いていた八重桜がありました。その後、本堂の中へ上がらせていただき、皆で御真言と般若心経のお経を唱えました。そして、ご住職の説法をいただきました。この赤目不動尊の由来をお聞きし、伊賀国(三重県)にある赤目四十八滝にご縁があるとのことでした。また、三毒(貪:とん・瞋:じ

ん・痴：ち）のお話をいただきました。日常生活において最も悪い煩惱を仏教では「三毒」と呼びます。この三毒を追放する事で、この嫌な時代を元気に過ごしたいものという内容です。

・貪：とん とは、怒りのことで、すぐに感情的になり、瞬間的に爆発するタイプ。悪いのは相手自分は正しいと信じている。反対意見を言われるとやっつけてやると攻撃的。（むさぼるともい、飲み放題食べ放題など食べ過ぎないことも大事とことでした。）

瞋：じん とは、他人の成功を素直に喜ばず、他人の不幸をほくそ笑む。最初から負けを認めていながら、自分自身の努力不足を棚に挙げ、言い訳がましくし相手を密かに攻撃する。

痴：ち とは、グチグチと管を巻き、ウジウジ仲間と憂さ晴らし。不平不満を語らせたらピカイチ。現状を直視する事が出来ず、自分は世界で一番可哀想だと信じている。

そして、ここを出る頃

には、あたりは暗くなってきました。上野駅に帰る車内では、お神酒を頂戴し無事に巡拝を終えることができました。数年前から企画してくださいました木島様、本当にありがとうございました。

参加された皆様も、これから参拝される皆様もお不動様のご加護がありますように！！

以下は、一号車のバス内でのお話の内容です。今回の巡拝に参加された今野智円さまは、比叡山でも修行された女性の大阿闍梨様でおられます。初めてお逢いするご縁をいただきました。

自分の生まれ月の守り本尊様（ご自分の守り本尊は、一覧表を参考にしてください。）にお参りすることも大事ということでした。

また、聖天様（しょうでんさま）をお参りすることは、とてもよろしいとお話をいただきました。聖天様は、仏様であり神様であり、お願い事を聞いていただけるということとだそつです。今ではしっかりと日々祀っているところはないのではないかといいことでした。

さらには、修行というこ

とについて、日々の生活することが修行。みんな毎日家事に、仕事に、生活していることが修行しているのだとお話もいただきました。

守り本尊一覧表

子年と12月生まれの人
千手観音菩薩（せんじゅかんぜおんぼさつ）

丑・寅と1・2月生まれの人
虚空蔵菩薩（こくぞうぼさつ）

卯年と3月生まれの人
文殊菩薩（もんじゅぼさつ）

辰・巳年と4月生まれの人
普賢菩薩（ふげんぼさつ）

午年と6月生まれの人
勢至菩薩（せいしぼさつ）

未・申年と7・8月生まれの人
大日如来（だいにちにょらい）

酉年と9月生まれの人
不動明王（ふどうみょうおう）

亥・戌年と10月生まれの人
阿弥陀如来（あみだによらい）

清水 允冬

訃報のお知らせ

宮崎 民子

四月二十三日、福田先生はじめ諸先輩のご尽力により念願の五色不動尊参りに参加することが出来ました。

新宿教室・四谷教室で共に学んできた、永田啓子さんが闘病中なので、少しでもお不動様の御力が頂けたらとの願いも込めてのお参りでした。

永田さんと初めて一緒に御府内八十八力所を二年かけて満願し終えた後の心の清々しさに、次は坂東三十三観音（二回巡りました）東京三十三観音（途中でした）、京都が大好きで一年に二回は家族旅行していらしたので、安心してお任せできたし、京都青蓮院での揃っての出開帳を拝観、そして関東三十六不動参りを半分位終わらせて、どうしても五色不動だけは行きましようね」と願っていた矢先に、抗がん剤治療が始まって、延び延びになってしまいました。

その五色不動参りをし

人様からのお手紙が届いていました。それは大好きだった桜も咲き始めた四月五日にお亡くなりになったというお知らせでした。

『千の風』になっての歌詞のように私達のバスと一緒に参りに参加していたのかしらと思ってしまうタイミングでのお知らせ。

観音様もそうだけど、お不動様をお参りするとご利益大きくて身体の痛みが取れて楽になるのよね。と明るく話していらしたお姿からは、まだまだ一緒に学び、お参りにも行けると感じる位お元気で、昨年の十二月迄四谷教室にもいらしていましたので急な事にびっくりしました。

福田先生とはお母様から引き続きの長いご縁と伺いました。とても信心深く優しい方で一生懸命生きてこられた啓子さんのご冥福を、心よりお祈りすると共に闘病生活、お疲れ様でした、心安らかにゆっくりお休みくださいと願うばかりです。

宮崎 民子 合掌

永田さんの思いで 尾高 聡子



永田さんとは、福田先生の四谷教室と一緒に幹事をしようになつてから仲良くさせて頂くようになりしました。

何時も静かで丁寧な、幹事の役目など何も知らない私にいろいろな事を教えて下さった、とても聡明で優しい方でした。

一番の想い出は、毎月一回、三人で行った『十三観音巡拝』です。巡拝バスが出発する新宿センタービル前で永田さんと待ち合わせをして上野から乗車の宮崎さんと合流。観音様にお詣りに行くと言うよりも食事や買い物を楽しむ日帰りバスツアーの様で、とても待ち遠しい月一回の楽しみでした。

しかしその様な不謹慎な私と大違いな永田さん

は、いつも一心に観音様に手を合わせてお詣りをしていたその姿が強く印象に残っています。

またピーズアクセサリーの作り方を手芸の得意な宮崎さんに、林さんも加わり教えて頂いていたのですが、四人の他愛もないうおしゃべりをしながらの作業も楽しいひと時でした。

そして何より、長い間四谷教室の為にご尽力をいただいた、誠実なお人柄の永田さんにお会い出来なくなつたことは残念で寂しく思います。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

尾高 聡子



NPO通信

賛助金として左記の方々からご寄付を頂戴しました。(敬称略・順不同)

市川裕梨・佐藤宗眩・岩崎紀子・八川林加・吉田侑加・伊藤璃香

寺地正子様(故伊藤瑛梨様ご長女)よりご芳志(四万円)を頂戴し、賛助金とさせていただきます。

福田理事長から、「ズバリ!病気は手でわかる」の売上差益(二万円)を寄付させて頂きますとの申し入れがあり、会への賛助金として頂戴しました。

有難うございました。事務局 伊藤 璃香

お花見

四月七日、綾瀬教室(午前)終了後、有志二十数名で桜見物に行きました。場所は定番の「上野恩賜公園」です。今年

は季節のズレで桜の開花が遅れ、七日は満開となつたばかり。絶妙なタイミングにも恵まれて桜はひときわ見事です。

人混みを縫って、まずは東照宮へ参拝。おみくじを引いたり写真を撮ったりしながらの場所探し。少し小高いところに落ち着きましたが、福田先生差し入れの清酒三本、ワインとその量にびっくり! さぞ重たかつたことでしょうに...。滅多に手に

入らないお酒もあつて、皆に飲ませてあげたいという先生の思いが体中に沁み渡つた快いほろ酔いに身を置いて周囲を見渡すと、人それぞれに楽しんでお酒を酌み交わす、いつものお花見風景が戻っていました。「桜あつてのお花見、見る人あつての桜」。ほんの僅かな盛りりの間に人々を魅了し尽くす「桜」、やはり凄い存在です。

去年は三月の大震災のこともあり、お花見への声も上がらずで自然消滅。今年は満開なのになぜか華やかさがなく、白く「楚々」とした佇まいの桜に見えて、なにやら寂しさを覚えたのは私だけだったのでしょか?

後日、朝日新聞に八十三歳の男性の投書を見ました。以下にご紹介いたします。

桜咲く「音」 春雨に似てた「今晚あたり、桜がいつせいに咲き出しそうなので、花が咲く音を聞くことができるかもしれないよ」

桜の花の咲く音...。想像もしていなかったことなので、どうしたら聞けるのかと尋ねたら、他の音が一切聞こえなくなつた深夜に、ということでした。

午前一時ごろ、校庭の一番大きな木の下に立つてみました。すると静寂の中に力強く、春雨のような、絶え間ない音を聞けたのです。幻聴とは思えません。

もし聞きたい人がいたら、なるべく大木の、しかも本数の多い所に出かけ、花が一斉に開く暖かい無風の夜が、狙い目だと思います。集音器なども用意し、耳を澄ませてみてはいかがでしょう。『来年も 穏やかなお花見ができますように。』

伊藤 璃香



事務局だより

総会

日時 七月二十八日(土) 午後一時十五分より 場所 「足立区こども家庭支援センター」

(例会後 懇親会予定) 講演 (午後二時) 三時三十分

講師 大橋一彌 様(介護専門員・ケアマネージャー)

テーマ 老々介護の問題、認知症、からだのケア! 他、高齢化社会の現状と予防のお話です。

有宵会旅行

九月十八日(火)・十九日(水) 郡山・会津方面

「コロリ三観音様」を始めとする由緒ある神社仏閣巡拝です。

平日なので早目に予定を立ててください。

日本占術協会総会

日時 六月十日(日) 午後二時より

場所 九段下・「ホテルグランドパレス」

四月二十三日に行われた「江戸五色不動尊巡拝」は、参加七十一名、バス二台を連ね、意義ある参拝が、皆さまご好評のうち無事終了しました。

会員計報 永田啓子 様 (享年六十六歳) 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

平成二十四年三月の例会には、六十三名の方が参加されました。

事務局 伊藤 璃香

編集後記

皆様方からの投稿をお待ちしております。占例も大歓迎です。宜しくお願いたします。 佐藤宗眩

